

激増するアクセス件数、 単一の製品で国内外すべてを網羅し、海外への展開が容易。 「食べログ」の躍進を陰で支える Google Maps APIs



〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南3-5-7
デジタルゲートビル
<http://tabelog.com/>

食べログは、カカコムグループに属するグルメサイト。「ランキングとクチコミで探せるグルメサイト」がコンセプトです。全国約80万件の飲食店をデータベース化、実際に利用した方の意見や感想を集めて共有することで、信用できるグルメサイトとなっています。海外展開も進行中、充実したサービス内容の有料会員は55万人を数えます。

食べログで食事をする場所を調べるというのは、日本人にとってごくあたりまえの行動になっています。食べログのPVは月間約14億。うち2割弱の方が地図をリクエストするため、地図には信頼性が求められます。Google Maps APIsの圧倒的な信頼性、開発者が扱いやすいAPI、グローバル性などは、食べログの躍進をお手伝いしています。

(左)株式会社カカコム
食べログ本部 サービス企画部長
伊藤嘉英氏

(中)株式会社カカコム
食べログ本部 サービス開発部長
土肥寛基氏

(右)株式会社カカコム
営業本部 営業企画部長
荻島啓介氏

課題と効果

課題

1

食べログは月間約14億PV、うち2割弱の方が地図をリクエストします。地図情報を安定的に伝える必要があります。

効果

1

Google Maps APIs (有償版)は、月間99.9%以上の正常稼働を保証。Googleのサポート体制により、長時間にわたってアクセスできないということは、一度もありませんでした。

課題

2

ユーザーが迅速に探しているお店を探し出せる様、地図上に一目でどのようなレストランなのかわかるようなアイコンを表示することなどが必要です。

効果

2

Google Maps APIsを使用すると容易に多彩な表現が可能になります。「ラーメン」などのアイコンによる表現もAPI上で簡単に実施可能です。

課題

3

海外展開をするには海外の地図、日本に来た外国人向けには英語などの多言語表記が必要となります。また、移動中にスマホやタブレットなどで位置を確認する人も多くなってきました。

効果

3

Google Maps APIsであれば、1製品で国内のみならず、海外の地図も自由に使えます。文字表記も普段の言語環境同様に設定可能、マルチデバイスに対応します。

何が問題だったか？

信頼性とグローバル性に優れた Google Maps APIs

2005年にサービスを開始して以来、食べログのアクセス件数は増加の一途を辿っています。現在は月間約14億PVがあり、その2割弱の方が地図をリクエストします。大量のリクエストに対して、安定的に地図情報を提供する必要があります。

また、現在の食べログのユニークユーザーは約6300万人にも達しており、今後は、ヘビーユーザーと現在55万人超の有料会員を増やすためのサービス向上が課題です。ここで地図サービスを充実させることは有力な手段となります。つまり、多彩な表現やカスタマイズしやすい地図が求められます。

食べログは現在、日本国内のほか海外旅行者向けに34の国・エリアのレストラン情報の掲載を行っており、今後はさらなる海外展開を予定しています。特に北米の主要都市では、現地のユーザー向けのレストラン情報サイトとしてユーザーを増やしています。そこで、海外もカバーする地図が必要となります。また、海外から日本を訪れる人に向けたサービスを開始するにあたっては、地図の言語も課題となりました。

何を目的に導入したか？

「Google マップに戻して」というお客様の声に responding 検討

もともと食べログでは無償版の Google Maps APIs を採用していました。ユーザー数の増加とともに、アクセスが増えなくても制限がかからず、月間99.9%の稼働補償を有する有償版に切り替えました。食べログのユーザーには、使い慣れている Google マップが使えるベネフィットがあります。Google マップのファンが多いのだと感じたのは、ある時期に別の地図に変えたところ、ユーザーから「Google マップに戻してほしい」という声があがった時でした。

海外進出にあたっては、Google Maps APIs しか選択肢はありませんでした。1つの製品で全世界の地図が網羅され、そして、多岐に

わたる交通機関でルートを検索することも可能、地図の言語が普段使っている言語環境に合わせて変わるので。

地図を見ながら食事場所を選んだり、探したりするのは、移動しながらの場合が多いのが実情です。そのため、マルチデバイスに対応できるものを検討しました。

どんな効果があったか？

使い勝手がよく、ヘビーユーザーを増やすための多彩な策が可能

まず、Google Maps APIs の場合、月間99.9%以上の稼働保証をしているように、常時大量のアクセスがあっても、急にアクセスが増えたとしても、安定的に動作し、お客様にご迷惑をおかけすることがありません。

有償版の Google Maps APIs を使用することは、制作者にとって、使い慣れた API を引き続き使えるというメリットがあります。特にコンテンツの開発者にとっては、細かいカスタマイズや多彩な表現が簡単にできるため、お客様の要望や経営方針に従って、想像力を膨らませいろいろ試すことができました。多彩な表現が可能という意味では、API上で、飲食店アイコンを「ラーメン」でわかりやすく表現している箇所もあります。

また、食べログのスマートフォン用アプリケーションは、Google Maps APIs に連携しているので、「お店を検索してGoogle マップで地図を見る」→「食べログのアプリに戻る」という動きがシームレスに行え

ます。移動しながらお店を探したりする方が多いため、モバイル機器を用いて、地図と、ストリートビューなどで確認しながら行動できるというのは大きな特長です。周りの風景をリアルに確認しながら、お店を探ることができるようになっており、お客様に好評です。使い勝手に加え、有料会員に向けた特典なども功を奏し、有料会員数が増えています。

サービス登録月額500円(+税)で掲載されるランチのすべてがワンコインになる特別優待サービス。



今回の導入プロダクト「Google Maps APIs」

「Google Maps APIs」を使うと、オリジナルの位置情報アプリケーションやモバイル向け地図アプリケーションを作成することが可能です。それだけでなく、データや画像、ブランドを強調する地図のカスタマイズなども容易です。ぜひ、詳細をご覧ください。

本内容は、2015年4月時点での取材に基づくものです。

お問い合わせはこちらから
<http://goo.gl/FEpnXt>



Google Maps APIs for Work の詳細については、右記URLもしくはQRコードからアクセスしていただくか、同ページ「お問い合わせ」よりお問い合わせください。
© Copyright 2015 Google
Google は、Google Inc. の商標です。その他すべての社名および製品名は、それぞれ該当する企業の商標である可能性があります。

